

新規品目の定着を目指して

宇城地域では、簡易な施設や遊休ハウス対策として秋冬どりセルリーの導入検討を行っています。

秋冬どりセルリーは、8月に苗を定植し、12月に収穫を行います。この取り組みは、昨年度から野菜振興協会の新産地育成事業を活用して始めたもので、今年は4月の農家説明会から実施し、9戸・約67aに広がりました。

今作は、8月下旬の台風接近による定植遅れや秋の高温など、やや厳しい条件下での栽培となりましたが、無事12月～1月に収穫期を迎えることができました。

また、新たな取り組みとして、セルリー後作にハウススイートコーンを現在検討しており、更なる農家所得の向上やハウスの有効利用について、引き続き支援を行っています。



収穫されたセルリー



定植期のスイートコーン